

科目名	診療の補助技術Ⅱ		時期	時間	単位
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		1年次	前期	30時間 1単位
科目設定理由	看護は人間の健康に焦点をあて、あらゆる成長・発達段階にある個人、家族、集団、地域・社会の中で生活している人を対象とし、その人がもつ自らの力を最大限に発揮し、最期までその人らしく生きることを支援する。そのため、診療の補助技術の重要性を理解したうえで、演習を通し科学的根拠に基づいた基本的な看護技術の修得が必要である。そこで、対象の安全・安楽を考慮し、治療・処置の効果が最大限に達成されるよう支援する援助方法を修得するため当該科目を設定した。				
学習目標	1 感染防止につながる看護技術を修得する 2 創傷管理の看護技術を修得する 3 呼吸・循環を整える看護技術を修得する 4 輸血に必要な基礎的知識を習得する				
修得する看護技術項目	NO.8 膀胱留置カテーテルの管理 NO.9 導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入 NO.29 体温調節の援助 NO.30 酸素吸入療法の実施 NO.32 口腔内・鼻腔内吸引 NO.68 医療機器の操作・管理（輸液ポンプ、シリンジポンプ、心電図モニター、酸素ボンベ、人工呼吸器等）※酸素ボンベのみ該当 NO.34 体位ドレナージ NO.46 輸血の管理 NO.59 使用した器具の感染防止の取り扱い NO.60 感染性廃棄物の取り扱い NO.61 無菌操作				
授 業 計 画					
回数	項目	内 容			備 考
1～5	感染防止	1 洗浄・消毒・滅菌 2 無菌操作と滅菌物の取り扱い (1) 穿刺の介助 胸腔穿刺 腹腔穿刺 腰椎穿刺 骨髄穿刺 3 感染性廃棄物の取り扱い 4 針刺し防止策 5 カテーテル関連血流感染対策 (1) 中心静脈カテーテル 6 導尿の援助			講義・演習 NO.8 NO.9 NO.59 NO.60 NO.61
6	創傷管理	1 創傷管理の基礎知識			講義
7～12	呼吸・循環を整える看護技術	1 酸素吸入療法 (1) 援助の基礎知識 (2) 中央配管・酸素ボンベの取り扱い 2 一時的吸引：口腔・鼻腔 3 体位ドレナージ 4 吸入：ネブライザー 5 体温管理の技術 (1) 罨法			講義・演習 NO.30 NO.32 NO.34 NO.29 NO.68
13～14	輸血	1 輸血療法の基礎知識 2 輸血療法の方法			講義 NO.46 (レポート)
15	試験	まとめ			
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ		有田 清子 他	医学書院	
	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術		任 和子 他	医学書院	
	医療安全ワークブック		川村 治子	医学書院	
参考図書・資料等	看護技術がみえるvol.2 臨床看護技術 メディックメディア				
評価方法	筆記試験、演習への取り組み、課題レポートなどから総合的に評価する				